



円地 仁志(えんちひとし)議員

一問一答

## 安宅海岸浸食対策について

**Q** 安宅海岸(特に左岸側)の浸食が著しい。この安宅海岸の浸食の現状について。

**A** 昔から冬期風浪による浸食が度々発生していた。昭和30年代頃から浸食が激しくなり、直立護岸等整備を行ってきた。近年の海浜幅は、40m前後で安定している。

**Q** 海岸の管理については、いろいろ所管があるわけですが、安宅海岸の所管、管理について。

**A** 梯川の左右岸500m区間は、安宅海岸施設の管理で漁港施設を含め、小松市で行っている。隣接する国の直轄海岸と緊密に情報交換を行い、適切な管理を実施している。

**Q** 過去にも海岸浸食が進み、その対策を行ったと思うが、これまでの浸食対策について。

**A** 左岸側は、昭和43年に直立護岸を整備したが、昭和52年冬期風浪で被災、緩傾斜護岸として復旧。昭和57年〜平成7年にかけて、沖合に離岸堤を3基整備。

右岸側は、平成5年と8年に天然護岸が被災し、緩傾斜護岸として復旧。平成8年〜25年に沖合に、人工

リーフ2基を整備。

**Q** 国の大規模な対策ということ、で災害復旧での対応の可能性について。

**A** これまでも災害復旧事業が適用され今の形が出来上がっている。適用されるには、災害が起こり被害を受け、認定されなくてはならず、その際には認定を受け、速やかに復旧を行っていく。

**Q** 美しい海岸線、白砂青松の風景は、まさにシビックプライドである。早急かつ効果的な海岸浸食対策を求める。

**A** 安宅の海岸はシビックプライドに通じるものであり、来年度は施設調査、老朽化調査のため、調査費を計上する。その調査結果をもつて、国、県に対し改良事業の事業費支援を得られるよう強く要望していく。



浸食が進む安宅海岸



宮西 健吉(みやにしけんきち)議員

一問一答

## 子育て教育・旧西尾小活用施策で本市の対応は

◆子育て教育におけることも園、保育所の現状と課題について

**Q** 民営化計画での今後の計画は。

**A** 第一、矢田野第二、金野・瀬領統合保育所以外の民営化を推進。

**Q** 本市の職員の配置基準と基準の見直しについて。

**A** 国と同基準で、0歳児が子供3人に対し1人。1・2歳児6対1。3歳児20対1。4・5歳児30対1。基準の見直しは、慎重に検討。

**Q** 会計年度任用職員の賃金は。

**A** 会計年度任用職員制度により非常勤保育士等の処遇が改善。職務内容等により、正規職員の規定給料表が適用される。

**Q** 休日保育、延長保育の職員の配置は、これらの見直しは。

**A** 休日保育は正規職員1名と補助職員1名で対応。年3回から4回の勤務で、許容の範囲内と認識している。

**Q** 今後の正規職員の採用計画は。

**A** 会計年度任用職員と併せ、バランスのよい採用計画を立てる。

◆本市公設のふれあい健康広場・西俣キャンプ場について

**Q** 概要は。条例は。指定管理者は。

**A** ふれあい健康広場は、ゴルフ場が9ホール、キャンプ場15か所等で民間事業者が管理。公園施設使用料等は小松市都市公園条例で、自主事業は指定管理者が設定。西俣キャンプ場は、オートキャンプ場30か所地元団体が管理。料金等は、西俣キャンプ場条例で設定。

**Q** 利用数は。運営収支は。

**A** ふれあい健康広場は、令和2年が1万2千277人、指定管理委託料1千560万円。西俣キャンプ場は、令和2年が3千24人、指定管理委託料は300万円。

**Q** 2つの施設の指定管理料の違いは何か。

**A** 特性により、指定管理料に差が出ているが算定は適正。今後必要があれば、対応を検討する。

**Q** 旧西尾小活用での本市の対応は。

**A** スーパープロジェクトによる指定管理を前提に、令和4年1月末を期限に、基本協定書を締結。早期オープンへ調整していく。

# 予算決算常任委員会総括質疑

## ◆会派自民◆



新田寛之委員

### ◆子育て世帯臨時特別給付費

**Q** 所得制限で支給対象となる児童数、世帯数、支給対象とならない児童数と世帯数について。

**A** 支給対象は約1万7千9百名、約1万5百世帯、支給対象外は約9百名、約6百世帯。

**Q** 支給額と支給方法、スケジュール、年収960万円以上世帯への市独自の考えはあるか。

**A** 令和3年内に1人10万円を現金で一括支給。財源の問題もあり、国に準じた形で支給を行う。

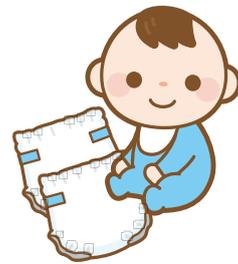
**Q** 市の所得制限の考え方について。

**A** 原則設けない方向が良いが、全政策に同一基準は難しい。

**Q** 赤ちゃん紙おむつ定期便費概要について。希望の種類の紙おむつを選択可能か。

**A** 見守り訪問による子育て情報の提供と紙おむつの配達。種類は

選べる形にしていく。



**Q** 事業スケジュール、対象者は、何回受取れるか。

**A** 令和4年7月開始予定。令和3年7月〜令和4年7月生まれが最初の対象で、1歳の誕生日まで最大10回。

**Q** 委託業者について、配達業務と見守り支援は両立可能か。

**A** 子育て経験者や知識のある配達員を想定している。

**Q** 配達時の見守りやフォローアップは何をするのか。

**A** 声かけ、チェックシートによる情報収集等。内容に応じ、市の関係各課に情報を提供する。

**Q** 支援員のスキルアップや研修も必要。助産師会や看護師協会等様々な人材の活用を。

**A** 保護者が安心して相談可能な体制構築のため研修を実施。業務の趣旨を理解した適正な業者の実施を想定している。

**Q** 継続事業とするか。

**A** 安心して子育てできるまちを目指し継続実施が重要。



表靖一委員

### ◆小松駅ターミナルプラン推進費

**Q** 事業内容及びライブラリー機能の変更理由について。

**A** 令和5年春のオープンを目指し、観光案内、ワークラウンジ、情報ラウンジの3区画を整備する。八日市地方遺跡等の展示機能を持つ交流エリアとした変更を行うもの。

### ◆小松駅高架下観光交流施設整備費

**Q** 情報ラウンジ及びプロジェクトマネージャーの役割について。

**A** 小松の生活や産業を支えてきたものづくりに焦点を当て、八日市地方遺跡をはじめ歴史、文化、名称を発信する場とした。マネージャーには民間企業での経験をフルに生かし、駅周辺施設と連携を取り、進めてもらいたい。

### ◆旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会委員報酬

**Q** 委員報酬が当初見積りより膨らんだ理由は。

**A** 委員の方々の資料の読み込み、会議出席、情報の取りまとめ等を行い、最終的に3名で272時間30分と想定よりも時間を要した。

**Q** 総務企画分科会での執行部の謝罪理由及び今後の方針は。

**A** 予算総額を正確に見通せず、議会への説明や手続きが不十分であったため真摯に反省したい。今後の事業方針はどうすれば施設をいち早くオープン出来るか、継続的、持続的な運営するにはどうすべきか、お互いに協議し令和4年7月1日オープンを目指したい。

## ◆自民党こまつ◆



田地仁志委員

### ◆サテライトオフィス立地推進費

**Q** 事業の概要は。

**A** 小松駅東地区に令和5年度完成予定の複合ビルへの企業誘致に向けて営業活動を展開する。

**Q** 正蓮寺産業団地の分譲から3年ほど経過しているが企業誘致が進んでいない。これまでの取組は。

**A** 市内・県内企業への訪問や、都市部で開催される企業立地フェアにて誘致を進めてきた。

**Q** 今後、正蓮寺、安宅新、小松駅東複合ビルの3本柱で企業誘致を進めるとしているが、それぞれどのような産業を誘致していくのか。

**A** 正蓮寺地区は現在引き合いのある企業を、安宅新地区は物流のほか航空関連など新たな業態の企業を、複合ビルにはIT産業などの誘致を実現したい。



川崎順次 委員

**◆** 10万円給付金を地元商店街で

**Q** 子育て世帯臨時特別給付費について市民の要望、市長の決断で10万円一括現金で12月24日に支給決定。地元経済が疲弊した中で何とか地元商店街で使用できるように、市民にお伝えすることができないか。地元経済を立て直すことが一番重要。今後市長の子育て支援・教育支援、子ども達に向けた強い今後の対応策があるか。

**A** 本市では、子育て世帯に速やかに支給するために、クリスマススイブに現金一括10万円での



給付を選択した。この10万円給付に限らずしっかりと事業者支援を行ってほしい。子育て政策や教育の充実は重要な観点であり、交付金等財源を確保できるように鋭意取り組んでいきたい。



吉村範明 委員

**◆** 小松市地域女性活躍推進事業(つながり型)について

**Q** 目的と地域女性活躍推進交付金は。

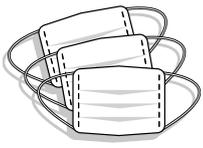
**A** 目的は女性の相談窓口の開設や居場所づくり、交付金はスキルアップ等推進、就労寄り添い型支援。

**Q** 内容と委託先と期間は。市単事業で継続すべきだ。

**A** 内容は、相談窓口設置と相談員等の人材育成、居場所の提供、市関係各課等への連携等。委託先は、NPO法人いのちにやさしいまちづくりほほほねつと。期間は令和4年度末まで。継続を市として検討していく。

**Q** 健康上の理由でマスクを着用出来ない方もいる。県は配慮を求めると案内を出したが本市は。

**A** マスク不着用の方の事情を汲み取れる共生社会を目指していく。広報も今後検討する。



宮西健吉 委員

**◆** 旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会委員報酬

**Q** 報酬の内訳は。検証委員会を立ち上げた理由は。

**A** 執務に伴う報酬と交通費相当の費用弁償である。当初の計画どおり進まず、経緯も踏まえ事業を初めから検証するため立ち上げた。

**Q** 今後のプロポーザル事業の在り方は。

**A** プロセスをしっかりとし、マニュアル化して規定していく。

**Q** 条例については。

**A** 様々な事例を参考に適切に運用する。

**Q** 議会での特別委員会の立ち上げについては。

**A** コメントする立場にないが、あれば、やるべきことはする。

◆ 無党派 ◆



木下裕介 委員

**◆** 子育て世帯臨時特別給付費  
**Q** 世帯年収1、900万(夫950万、妻950万)は支給され、

世帯年収1、300万(夫1、000万、妻300万)は対象外。これでは所得制限を入れる意義が薄れている。子どもへの支援であれば、市独自で所得制限を撤廃して、18歳以下全員に現金を支給してはどうか。

**A** 国に準じた児童手当制度の枠組みで行われると考えている。



橋本米子 委員

**◆** 医療的ケア児支援費90万円について

**Q** 医療的ケア児支援法成立の意義についてどのようにお考えか。

**A** 医療的ケア児への支援を地方自治体の「責務」としたもの。

**Q** 予算90万円の使用内容についてどのような内容か。

**A** 事前に看護師を雇用し、医療的ケアに対応できるよう育成。

**Q** 学校における医療的ケア児支援体制の構築について聞く。

**A** 医療的ケア運営協議会を設置し看護師、教職員の研修を実施。

# 常任委員会 審査報告

## 予算決算

委員長 出戸 清克  
副委員長 片山 瞬次郎  
全議員所属

議案第60号 令和3年度小松市  
一般会計補正予算(第4号)につ  
いて

### ■総務管理費一般経費 (4,200千円)

7月に設置された旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会の委員3名の報酬に係る費用で、検証委員会からは11月に検証結果をまとめた報告書が市に提出されており、市の手続きにおいて、「不適正」な部分があったと報告されています。

補正予算案の上程が後になって提出されていること等説明が不十分であったことから、今後は丁寧な説明を行うよう強く求めました。議会には報告書の概要版で説明されており、また、予算審議の立場から全体版である原本の提示を求める意見がありました。公開されませんが、引き続き、協議することを求めました。地元も施設の早期オープンを要望しており、1月末を期限に現指定管理者と基本協定の締結に向けて協議を進めていくことであることから、お互いにオープンに向けて協力して進めてほしいと求めました。また一部の委員からは、全体版の提示が無かったことや上低予算の議決を前に予算執行がされていることなどから委員会として意味がない、

議会制民主主義として間違っている  
と反対する意見がありました。

### ■共生のまち推進費 (2,700千円)

新型コロナウイルス感染症の影響や育児・健康などの事情により生活に不安を抱える女性等を対象に国の交付金を活用して、気軽に相談できる窓口の開設や孤立しないよう居場所を提供する地域女性活躍推進事業に係る費用です。

相談したい人に声が届くように幅広い周知を求めました。

### ■赤ちゃん紙おむつ定期便費 (債務負担行為15,000千円)

生後3ヶ月から1歳までの赤ちゃんを養育する家庭の見守り訪問の実施と子育てに関する情報提供を行い、併せて紙おむつを自宅まで配達することと、訪問開始は令和4年7月を予定しているとのこととです。

### ■小松駅高架下観光交流施設整備費 (2,500千円)

北陸新幹線小松駅開業による新たな交流の創造に向け、小松駅高架下情報ラウンジ内部の展示設計を行うものです。地域の魅力発信や広域連携の拠点づくりなど、観光交流センター機能の追加に伴い、補正計上するものです。

### ■八日市地方遺跡発掘調査費 (134,000千円)

小松駅東地区複合ビル建設に伴う八日市地方遺跡埋蔵文化財発掘調査経費です。

発掘調査で出土した貴重な資料を観光交流施設で展示し、素晴らしい歴史文化をPRしてほしいとの意見がありました。

### ■サテライトオフィス立地推進費 (1,500千円)

令和6年春完成予定の小松駅東地区の複合ビルへのオフィス誘致を推進するため、オフィス情報フライヤーの作成など営業活動を展開する費用です。

引き続き攻めの姿勢で企業誘致を推進するよう求めました。

### ■森林情報管理システム整備費 (4,000千円)

スマート林業の実現に向け、これまで紙ベースで管理されていた森林資源情報や地図情報をデジタル化して、森林GISにより一元的に管理するシステム整備費用です。

### 議案第74号 小松市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する 条例について

行政財産の目的外使用における使用料算定は、現在土地又は建物の評価額の一定率としていますが、使用者の負担感を軽減するため売上利率等をもとに使用料を設定できるようにする等、また、月額納付できるようにする等改正を行うものです。

### 議案第82号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第5号)について

### ■臨時福祉灯油助成費 (31,000千円)

原油価格の高騰を踏まえ、住民税非課税世帯等への家計への負担軽減を図るため、冬期間における灯油等の暖房費の一部を助成することとです。助成対象と見込まれる世帯には1月中旬に申請書類を送付し指定の口座に振込を行うとのこととです。

### ■生活支援臨時福祉給付金費 (1,067,400千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、生活支援が受けられるよう国の経済対策として実施するもので、住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円の給付を2月中旬に予定しているとのこととです。

国の制度設計が決まり次第、委員会において再度の報告を求めました。

### ■子育て世帯臨時特別給付金 (1,756,400千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が及ぶ中、子育て世帯について、国の基準に準じた所得以下の世帯の0歳から高校3年生までの子供たちに給付金を支給するものです。本市においては、子育て世帯へ速やかに支給するため、対象児童1人当たり10万円を一括給付することに変更決定したものです。一括現金給付になることは、望ましい形ですが、地元経済の活性化に繋げる対策も重要であることから、地元経済の回復に向けた対策の実施を求めました。